

# 寶林精舎

《題字・森神紫陽》

## 平成23年 秋の彼岸山門大施餓鬼



無垢なる姿

平成23年9月22日（木）午前11時から秋のお彼岸法要が行われました。ご先祖さまの戒名が記された申し込み袋が各檀信徒から届けられて、水塔婆（経木塔婆）に書き写されます。今年は643霊が本堂の施餓鬼棚に納められて、法要中に丁寧に読みあげられました。

法要の準備は花園会女性部が2週間前から行いました。

どんな法要も準備が大変です。檀信徒のお陰で無事に年中行事を終える事が出来ました。

法要の写真は、小野美智治さんが撮影してくれています。寺報で紹介できなかった写真は、ホームページに掲載されています。



12ヶ寺の和尚さま

### 第55号

正定寺花園会広報

平成23年冬発行 発行所 一部単価135円(非売品)

檀信徒数 直川地区：254戸 直川地区外：148戸

〒879-3104 大分県佐伯市直川大字仁田原 寶林山正定寺内

TEL0972 (58) 2190 FAX0972 (58) 2192

URL <http://syoji.com/> e-mail [shoji@saiki.tv](mailto:shoji@saiki.tv)

住職 小原 寿山



参拝者は焼香と水向けをいたします







出頭（法要に立ち会う）した和尚さま



読みあげられるご先祖さまの戒名を真剣に聞き入っています



二十五菩薩をあらわした小幣（五色の幡）を作る花園会女性部



# 晋山式特別寄付のお願い

ここに、ご案内申し上げます「晋山式特別寄付」は、晋山式の吉縁に在って各家菩提の追善供養と晋山式のご随喜を願うための募財です。

特別寄付をお考えの皆さまには、三輪空寂の御心によるご信援を賜れば幸いです。

30年に一度巡り逢わす晋山式の良縁が、多くの支えを賜り、無事に円成できることを願っています。

## 《特別寄付のご説明》

### 【寄進の方法】

- ① 別表に記しています「施主品」の中から各家の思いによってご寄進いただきます。
- ② ご連絡いただければ、役員が出向きます。
- ③ 匿名（名前を伏せる）を希望する方は、お知らせください。
- ④ 施主品を親族・家族で出し合って寄進する事もできます。
- ⑤ 遠地の方は振込口座をご利用ください。（事前に連絡をお願い致します）

### 【勸進の方法】

- ① 施主品への特別寄付は、平成24年正月より受付を致します。
- ② 「晋山式特別寄付者」は賀儀受帳などに記載して、晋山式法要の真前に奉納いたします。

※ 施主品の説明などは遠慮なくお尋ねください。詳しくは正定寺か総代にお聞きください。

## ● 特別寄付金の振り込み口座 ●

※割り当て負担金の73,000円を振り込む口座ではありません。

### 《ゆうちょ銀行からの送金》

〈記号〉17270 〈番号〉9410861  
〈口座名義〉宗教法人正定寺

### 《ゆうちょ銀行以外の金融機関からの送金》

〈店名〉七二八（ナナニハチ）  
〈店番〉728 〈預金種目〉普通預金  
〈口座番号〉0941086  
〈口座名義〉宗教法人正定寺

## 〔施主品〕

1	法衣	七條袈裟(合物)	1,500,000	26	式着	大絡子（夏物）	230,000
2	法衣	七條袈裟（夏物）	1,230,000	27	式着	大絡子（夏物）	230,000
3	法衣	七條袈裟（冬物）	700,000	28	式着	大絡子(合物)	180,000
4	法衣	七條袈裟（冬物）	500,000	29	式着	絡子（冬物）	80,000
5	法衣	七條袈裟(合物)	500,000	30	式着	絡子（冬物）	80,000
6	法衣	七條袈裟（冬物）	230,000	31	式着	絡子（夏物）	80,000
7	法衣	七條袈裟(合物)	230,000	32	式着	絡子（夏物）	80,000
8	法衣	七條袈裟（夏物）	230,000	33	式着	絡子（冬物）	20,000
9	法衣	七條袈裟（冬物）	130,000	34	式着	絡子（夏物）	20,000
10	法衣	七條袈裟（夏物）	110,000	35	式着	沓（2脚）	150,000
11	法衣	紫衣（冬物）	270,000	36	式着	払子	130,000
12	法衣	紫衣(合物)	230,000	37	式着	手巾	64,000
13	法衣	紫衣（夏物）	230,000	38	式着	数珠	100,000
14	法衣	黒衣（冬物）	260,000	39	式着	数珠	50,000
15	法衣	黒衣(合物)	240,000	40	式着	数珠	50,000
16	法衣	黒衣（冬物）	230,000	41	式着	数珠	20,000
17	法衣	黒衣（合物）	230,000	42	式着	頭陀袋	30,000
18	法衣	黒衣（夏物）	230,000	43	式着	頭陀袋	20,000
19	法衣	従軍衣（合物）	170,000	44	仏具	茶器	140,000
20	法衣	従軍衣（冬物）	170,000	45	仏具	拝敷	50,000
21	法衣	白衣（合物）	120,000	46	仏具	大傘	80,000
22	法衣	白衣（合物）	120,000	47	仏具	大傘	80,000
23	法衣	白衣（夏物）	60,000	48	仏具	香合	30,000
24	法衣	白衣（夏物）	60,000	49	記念	尾浦由来板	500,000
25	式着	大絡子（冬物）	350,000	50	記念	正定寺由来板	170,000

※施主品は寄進発願をお願いするためのもので、全品を特別寄付で賄うものではありません。

又「晋山式特別寄付金」は、一律負担額を少しでも軽減させるために、当初より予算化していたもので、檀信徒への追加金ではございません。



# 平成24年に迎える故人の年忌追善法要のご命日

平成24年に年忌追善供養を迎える御霊のご命日です。法要の期日は早めにお知らせください。



1回忌	平成23年
3回忌	平成22年
7回忌	平成18年
13回忌	平成12年
17回忌	平成 8年
25回忌	昭和63年
33回忌	昭和55年
50回忌	昭和38年



「来年には年回が来るはずなのに載っていない」・「命日が違う」・「戒名が違う」などの方は正定寺へ連絡ください。尚、年忌法要の該当家には「年回表」が戸別に配布されています。

命日	当時の施主	地区	故人	年忌
3月 3日	小野 郁代	上の地	荒 喜	50回忌
3月 5日	御手洗貞子	岸の上	喜 義	1回忌
3月 5日	御手洗利夫	椀 杭	マ ツ	50回忌
3月 5日	小野今朝子	上の地	忠	7回忌
3月 6日	田代 史乃	長 崎	チヨ子	17回忌
3月 6日	小野 春雄	上の地	正 信	25回忌
3月11日	安藤 俊二	堂 師	宗 奉	3回忌
3月12日	廣瀬 精治	中 道	高 則	13回忌
3月14日	古元 聖人	竹の下	ヨ シ	25回忌
3月14日	染矢 博正	柚の原	日出男	3回忌
3月14日	新 哲一	大分市		50回忌
3月15日	志賀 正行	上の地	フ ミ	33回忌
3月15日	後藤 千秋	野の内	弥太郎	50回忌
3月19日	吉田 努	海 崎	憲 司	7回忌
3月21日	矢野 喜一	佐 伯	貞 照	50回忌
3月25日	泥谷 新	羽木蟻	マスエ	7回忌
4月 7日	三浦 清見	大 鶴	栄三郎	50回忌
4月11日	柳井 律子	市屋敷	睦 夫	1回忌
4月12日	御手洗 環	佐伯市	フクエ	25回忌
4月14日	安藤 廣美	久留須	キミエ	17回忌

命日	当時の施主	地区	故人	年忌
1月 2日	甲斐 茂喜	大分市	ニ キ	17回忌
1月 4日	岩崎 徳孝	堂 師	多美子	1回忌
1月 7日	武田 守	神 栗	ハ ナ	33回忌
1月13日	戸高 浅生	内 水	保	1回忌
1月19日	河村 明	上の口	敏 男	13回忌
1月26日	安藤 哲也	久留須	久三郎	33回忌
1月27日	柳井 清水	市屋敷	ナミ子	7回忌
1月28日	安藤 哲也	中 道	静 代	1回忌
1月28日	山口 正春	古 市	ハルエ	3回忌
1月29日	久保田キヨエ	堂 師	正	1回忌
2月 3日	田野 冲義	間 庭	善 作	33回忌
2月 8日	大原 昇	横 川	アヤ子	17回忌
2月 9日	小野 勇一	細川内	照 美	3回忌
2月12日	井上 基	上越市	道 則	3回忌
2月17日	矢野 美代	佐 伯	計 吉	33回忌
2月21日	小野美智治	上の地	郁 代	1回忌
2月26日	井上 肇	佐伯市	ヒ サ	50回忌
3月 1日	三浦 清弘	大 鶴	安 子	1回忌
3月 3日	平井 清源	大 鶴	美代子	1回忌

命日	当時の施主	地区	故人	年忌
7月 5日	山本スミ子	尾 浦	浅 雄	3回忌
7月 8日	染矢 国喜	佐伯市	フミエ	25回忌
7月 8日	鳴海 定頼	尾 浦	初 吉	33回忌
7月 8日	小田 木治	細川内	タ ツ	50回忌
7月 9日	市原 真道	大 阪	マサエ	33回忌
7月15日	吉田 勇	江河内	ミサエ	13回忌
7月18日	安藤 武雄	久留須	ト メ	17回忌
7月20日	御手洗康夫	佐伯市	常 夫	25回忌
8月 4日	廣瀬 豊喜	堂 師	松 行	7回忌
8月 7日	高原 幸吉	間 庭	武 夫	25回忌
8月 9日	森下 モキ	栗 林	満	3回忌
8月11日	後藤ノフエ	長 野	武 視	3回忌
8月13日	安藤 兼夫	立 長	助 蔵	50回忌
8月16日	廣瀬 芳見	立 長	秀 雄	1回忌
8月20日	曾根田千鳥	上の地	ケサ子	1回忌
8月20日	小野 勝本	別 府	弘 子	3回忌
8月30日	竹中 道治	竹の下	相 馬	1回忌
8月30日	鳴海雄二郎	尾 浦	ケ イ	3回忌
9月 7日	河野 邦彦	大 阪	世志栄	17回忌
9月 7日	山本 源義	尾 浦	ナ ツ	3回忌
9月 8日	高野 敏夫	佐伯市	里 江	13回忌
9月 8日	佐竹 伸幸	竹の下	キヨ子	1回忌
9月 9日	廣瀬伊久生	立 長	伊久太	17回忌
9月11日	山元 都	内 水	林	50回忌
9月14日	安藤 延男	福 岡	ワキエ	1回忌
9月20日	小野 泰雄	上の地	健 男	3回忌
9月22日	吉田 博昭	汐 月	昌 子	3回忌
9月23日	甲斐 朝美	神の原	安 男	13回忌
9月24日	安藤 公喜	福 岡	克 子	1回忌
9月28日	甲斐 政信	臼 杵	カツ子	1回忌
9月28日	吉内 音吉	江河内	ウ サ	25回忌
9月29日	久保田正巳	大 鶴	弥三蔵	50回忌
10月2日	岩佐 昭一	野の内	喜太郎	25回忌
10月2日	三浦 義男	大 鶴	太 一	33回忌
10月3日	久保田 誠	大 鶴	シ ナ	50回忌
10月8日	櫻井サト江	岸の上	伊佐夫	25回忌

命日	当時の施主	地区	故人	年忌
4月16日	簗戸 健	岸の上	春 生	7回忌
4月19日	岩佐喜太郎	野の内	ミドリ	33回忌
4月20日	山内 宏	弥 生	敏 郎	13回忌
4月20日	山畑 徹	岸の上	モ ヨ	33回忌
4月20日	羽明 信俊	堂 師	ト ワ	50回忌
4月22日	宮下 浩一	間 庭	幸 枝	1回忌
4月26日	吉田 直純	大分市	操	1回忌
4月28日	戸高 忠	内 水	竹 男	17回忌
4月29日	小野 力	黒 岩	セ ツ	25回忌
5月 3日	鳴海 信吾	尾 浦	吉 樹	13回忌
5月 5日	林 亀	上の地	八千代	1回忌
5月 6日	後藤 秋江	野の内	主 税	13回忌
5月 7日	泥谷 平吉	羽木蟻	タ ミ	50回忌
5月 8日	廣瀬 駒男	立 長	シ エ	25回忌
5月10日	井上 チズ	大分市	哲 人	33回忌
5月10日	鳴海ヨシ子	尾 浦	周 一	3回忌
5月13日	御手洗 哲	椀ヶ原	佐 一	3回忌
5月18日	鉄山 宗始	柚の原	昌 美	1回忌
5月21日	戸高由美子	内 水	誠 一	3回忌
5月22日	染矢 司	柚の原	種 義	50回忌
5月24日	平井 健吾	萱 垣	修 身	3回忌
5月24日	立箱 貞夫	神 内	貴美恵	3回忌
5月24日	安藤 直木	久留須	ハ ナ	50回忌
5月26日	染矢 邦正	神 栗	孝 司	25回忌
5月27日	柴田スミ子	久留須	治	17回忌
6月 4日	小野 幾夫	椀 杭	サツキ	1回忌
6月 4日	柳井 昇	久留須	敏 代	33回忌
6月10日	柳井 睦夫	市屋敷	ヨシエ	13回忌
6月15日	加藤 隆美	岸の上	太 郎	7回忌
6月18日	柳井 主税	市屋敷	清 見	33回忌
6月19日	吉田 直純	大分市	慶治郎	25回忌
6月24日	大久保富信	大 鶴	ナミ子	13回忌
7月 1日	小野 富生	柚の原	ヨシ子	1回忌
7月 2日	甲斐 龍太	江河内	計治郎	33回忌
7月 2日	平井 正	神 栗	熊 蔵	33回忌
7月 3日	大津 健児	延岡市	繁 夫	7回忌





# 佐伯藩百姓一揆勃発より200年

年明けの1月12日は「文化九年佐伯藩百姓一揆」が勃発して、ちょうど200年を迎えます。尾浦の檀信徒はその一揆を義挙して山里から浦里へと生活を変えた方々です。この度、尾浦地区の入り口に「一揆の由来」を記したものを立てました。是非、尾浦に行かれる機会がありましたらご覧ください。



尾浦のトンネル出口に設置された一揆の由来板と未裔の方々



眼前に海が広がる尾浦地区

## 文化九年佐伯藩百姓一揆

江戸時代に尾浦から一昼夜かかる西方の山里に、仁田原村など七つの村が在りました。山里の農民は、重税や役人の悪行によって、苦しい生活を送っていました。農民達は、幾度も役人の不正を訴えましたが、見直されることはありませんでした。彼らは、家族や村の暮らしを守るために、やむをえず佐伯藩への強訴におよびました。これが佐伯藩最大と云われる百姓一揆です。

一八一二年（文化九年）

一月十一日

一揆は因尾村と中野村から起こりました。

それは、百姓達による命がけの直訴でした。

頭立つ者は、仁田原村の正定寺にあつまり「願望状十ヶ条」を書きしたためました。

一月十二日

五千の百姓が正定寺裏山にそびえる、於利宇峠に集まり、明け六つの大鐘を合図に怒濤の如く城下へ殺到したそうです。郡代や代官と大勢の兵が一揆の制圧にあたりましたが、百姓は一步も引かなかつたと聞きます。家老の戸倉織部は、すぐに大事を知り、自ら百姓の説得に出向きました。

求めに応じた百姓達は、願望状と罪過の処分を家老にゆだねて、平然堂々と村々へ立ち帰ったと云います。



## 義民の処分と誇り

一揆の処分の中に、深島に遠島された友八、蒲江浦に所替えされた富蔵、入津浦に所替えされた善吉がいました。彼らが、至情をささげ正義に身を投じた、正定寺ゆかりの檀徒です。時の悪政を正し、多くの民を救った義民の誇りは、子孫に脈々と受け継がれ、陸から海へと彼らの生活が変わっても、歴史のいしずえである菩提寺を変えることはありませんでした。

## 一揆の民と謎

一揆が起こる五十年ほど前に、仁田原村と赤木村出身の一族が、深島や屋形島を経て、尾浦に住んでいました。先住の民と一揆の民は、格別のはからいで、正定寺への往来が許されていました。

一揆の伝説では、百姓の信望を受けて彼らを支える、謎の山伏が登場します。その山伏が、色利浦で産まれた正定寺第十六世の珍宗和尚ではないかと、伝えられています。珍宗和尚は「御綸旨」を賜るほどの高僧でした。

「仁田原の正定寺にいてみたら、くわいだごじゃというたわいな」と言う謎めいた里唄もあります。尾浦では「和尚さん」を「もしさん（もっさん）」と呼び、彼らの子孫が植えたとされる『ツワブキ』が、今でも正定寺に群生しています。

平成二十四年（二〇二二）

一揆義拳二百年

正定寺第二十四世晋山式

記念



平成24年に百歳・米壽・成人を迎える方々です。  
1月20日の檀信徒総会でお祝い申し上げます。

		本山登録花園会員	該当者	生まれ	
1	百歳	広瀬 精治	イソ子	明治45年	佐伯市直川大字赤木

		本山登録花園会員	該当者	生まれ	
1	米壽	安藤 金喜	テル子	大正13年	佐伯市直川大字赤木
2	米壽	伊東 好文	好 文	大正13年	佐伯市直川大字赤木
3	米壽	小野 勝	ハズエ	大正13年	大分市宮河内ハイランド
4	米壽	佐脇 廣栄	ハツエ	大正13年	佐伯市直川大字仁田原
5	米壽	簀戸 寅夫	ヨシ子	大正13年	佐伯市直川大字仁田原
6	米壽	永富マツエ	マツエ	大正13年	佐伯市長島町
7	米壽	飛田 幸幾	好 枝	大正13年	佐伯市直川大字仁田原
8	米壽	山下 昇	昇	大正13年	佐伯市直川大字仁田原
9	米壽	吉田 豊	ケサコ	大正13年	大分市梅が丘

		本山登録花園会員	該当者	生まれ	
1	新成人	岩崎 政徳	祥 子	平成3年	佐伯市直川大字赤木
2	新成人	小田木聖孝	絵 璃	平成3年	佐伯市直川大字仁田原
3	新成人	木下保治郎	健 太	平成3年	佐伯市大字蒲江字尾浦
4	新成人	染矢憲一朗	信 一	平成3年	佐伯市直川大字赤木
5	新成人	武田 敏秋	志 野	平成3年	佐伯市直川大字赤木
6	新成人	田中 隆一	綾 乃	平成3年	大分市西鶴崎
7	新成人	長田 文明	朋 史	平成3年	大分市明野南
8	新成人	鳴海トキ子	加 奈	平成3年	佐伯市大字蒲江字尾浦
9	新成人	鳴海 由久	里 乃	平成3年	佐伯市大字蒲江字尾浦
10	新成人	野村 浩史	美 紗	平成3年	佐伯市直川大字赤木
11	新成人	飛田 幸平	佑太郎	平成3年	佐伯市直川上直見
12	新成人	平井 清源	将 歳	平成3年	佐伯市直川大字仁田原
13	新成人	御手洗 哲	陽菜子	平成3年	佐伯市直川仁田原
14	新成人	吉田 君江	珠 美	平成3年	佐伯市新女島区
15	新成人	吉田 春道	一 紀	平成3年	佐伯市直川上直見

該当者は、檀信徒帳を元にお知らせしています。

檀信徒帳は1996年に世話人さんを通じて正定寺や本山に提出をされています。

## 盂蘭盆諷経・新仏供養

今年のお盆は、静岡の寿昌寺新命さんと正定寺新命の二人がお盆の棚経にお参りいたしました。

8月1日に本堂で盂蘭盆諷経を行い、16日には位牌堂で新仏29霊の供養を行いました。8月には本堂・位牌堂はお盆の飾り付けになります。



本堂の盂蘭盆飾り



位牌堂での初盆供養



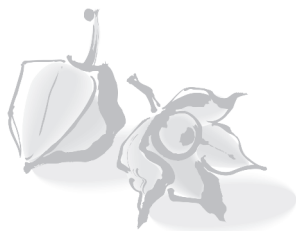
位牌堂での初盆供養



本堂の盂蘭盆飾り



本堂での盂蘭盆供養



## 「新しくなった縁起由来板」

正定寺の由来板は、平成16年の「台風13号」で倒れましたが、その年の秋に甲斐照光さんの寄進ですぐに修復されました。

7年経って文字ラミネートが破れ修理の時期になっていたので、11月に「正定寺由来板」を新しく致しました。

佐伯市の寺院でも正定寺のように、歴史背景や歴代和尚の法脈などが古文書などで明確に伝えられている寺院は珍しいと云えます。

詳しい歴史は正定寺ホームページからご覧ください。



本堂玄関の前に在る横4m、縦2.5mの由来板



## 「花園女性部のボランティア活動」

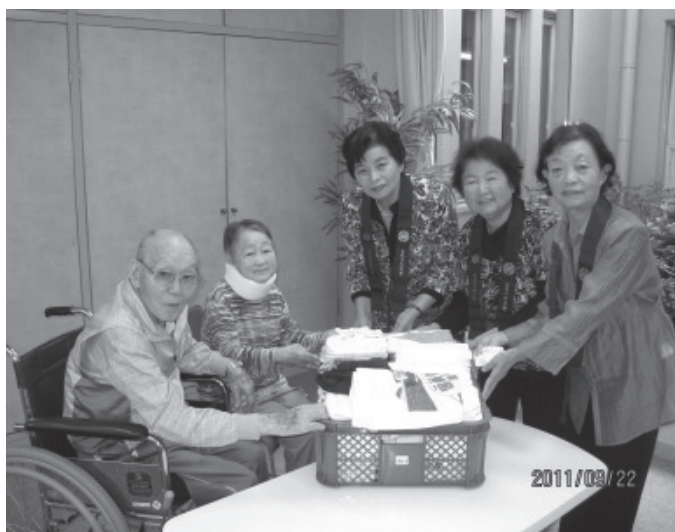
平成23年9月22日の「秋彼岸山門施餓鬼法要」が終わったあと、女性部役員が直川苑にタオルを届けました。

20年前に直川苑の入苑者に「家庭の味」を届けたいとの想いから、毎年「梅干し」を贈ってきました。

5年前から「直川苑」が独自で梅干しを漬けるようになったので、その後は「タオル」を女性部が持ち寄り届けるようになりました。

今回も女性部役員の「矢野顧問・甲斐部長・川野副部长」の3名が直川苑に出向きました。

直川苑では、入苑者の方々からわざわざ出迎えて頂きました。



入苑者の皆さまと記念撮影





「よのうづへ行ってきました。」

九州東教区第2部の「平成23年秋季特別布教」が11月17日（木）午前10時から、米水津竹野浦の潮月寺で行われました。

部内各寺院より総勢83名の花園会会員が一堂に会し、広島県からお見えになりました鳳源寺住職の 和田牧生和尚さまから「目覚める」をテーマに「人間の尊さにめざめ、自分の生活も他人の生活も大切にしましょう」と本山妙心寺の生活信条にそってお話を賜りました。

正定寺からは、花園会女性部の甲斐久仁子さん・矢野侃可さん・甲斐俊子さんの三名と寺庭が参加しました。

10時の開会式のあと、ご本尊さまと妙心寺ご開山さま、それにご開基さまのご回向と花園会会員のご供養を本堂で行い、5分間の坐禅も致しました。



「東教区女性部総会に参加」

平成23年10月4日（火）別府市の亀の井ホテルを会場にして「第30回九州東教区花園地方研修大会及び第17回花園女性部総会」が行われました。

10時開式で養賢寺専門道場の龍潜洞老大師（片岡省念老師）によりお言葉をいただき、花園本部長の林学道師の「目覚める」をテーマに基調講演が行われました。

昼食をはさんで午後からは「東日本大震災」へボランティアで参加した大分市の和尚さんがプロジェクトに被災地のようすを映し出すと、会場の各寺院の女性部も見入っていました。

正定寺からは、女性部三役の甲斐久仁子部長・川野久美子副部長・安藤リヨ子副部長・柳井久美子会計事務局と寺庭が参加しました。



## 晋山式募財の状況とお願い

檀信徒の皆さまには、様々な出費がかさむ中、晋山式浄財のご信援をいただき、心より感謝申し上げます。

おかげさまで、平成23年12月時点で既に檀信徒負担額の約8割の募財を賜りました。総代・世話人会では来年4月を一応の目安として募財の勧進をお願いしています。檀信徒の皆さまには、無理のない納金や振込で今後ともご協力をお願い申し上げます。

※尚、振込用紙を無くしたり、地区世話人さまに手数を掛けずに直接納金を希望する檀信徒の方は、戸高直人さん(晋山式特別会計)もしくは正定寺へ連絡してください。

戸高直人さん 電話(0972-58-2735)

正定寺 電話(0972-58-2190)

## 晋山式付帯工事の状況

晋山式の付帯工事の中で「正面参道(石段)」の工事も屋内工事も9割を終えています。正月20日の大般若会には、きれいになった参道を登り、新しい典座(台所)や東司(便所)・板の間や水屋が使用できると思います。

正定寺ホームページでは、工事の進行状況などが随時掲載更新されています。

ネット環境が整っているご家庭がありましたら、是非ご覧ください。

## 晋山式振込方法のご案内

募財割当額：73,000円

納入期間：平成23年4月から平成24年4月までの1年間

領収書：入金確認後に正式な領収書を送付いたします。

納入方法：①専用のゆうちょ銀行振込用紙を利用する場合(※手数料なし)

②ゆうちょ銀行のカードから振り込みする場合(※手数料なし)

〈金融機関〉ゆうちょ銀行

〈金融種類〉当座

〈口座名〉正定寺特別浄財

〈カタカナ〉ショウジョウジトクベツジョウザイ

〈口座番号〉01990-7-56863

③他の銀行から振り込みする場合(※手数料あり)

〈金融機関〉ゆうちょ銀行

〈金融支店〉一九九店(イチキュウキュウ)

〈店番号〉199

〈金融種類〉2当座預金

〈口座名〉正定寺特別浄財

〈カタカナ〉ショウジョウジトクベツジョウザイ

〈口座番号〉0056863

分割をご希望の方や振り込み方法がわからない方は遠慮無く正定寺か特別会計におたずねください。